

資料①- 1

主任ケアマネ部会活動報告資料

令和5年度 枚方市地域包括支援センター 主任ケアマネ部会 活動報告

1. 主任ケアマネ部会の開催（毎月定例開催）

開催日時	内 容
令和5年4月19日(水) 9:30～ 保健センター1階	1.枚方市役所から 特になし 2.各チームの今年度の取り組み ●医療介護連携強化チーム 医療・介護連携シートの見直しを検討していく ●ケアマネジメント支援チーム 新しい視点も入れながら今年度の研修内容を検討していく ●認知症施策検討チーム 特になし 3.各圏域の活動について 4.全体会で周知・報告すること/その他 特になし 5.その他 ・第11圏域で開催される「会議者家族の会」について各圏域でも参加を呼びかけていく ・地域包括支援センターの前で花壇を作り地元の高齢者が管理する ・多職種連携研究会の参加者を増やす取り組みとして ①アンケート結果を欠席の事業所にも送付 ②イベントを企画 ③案内をFAXだけでなく個別に依頼 →取り組む方針であるが、居宅介護支援事業所の閉鎖、ケアマネジャーの退職などの影響で、医療側は連携を取りたいと思っけていても、忙しい理由のためなのか居宅介護支援事業所の職員の出席が減っている現状が伺える。
令和5年5月17日(水) 9:30～ 保健センター1階	1.枚方市役所から 主任ケアマネ部会担当職員が変更 2.各チームの今年度の取り組み ●医療介護連携強化チーム 医療・介護連携の強化を目指すチラシの作成に当たり、大越なごみの森診療の大越医師に依頼を予定しており、在宅医療をテーマにインタビューする ●ケアマネジメント支援チーム 障害施策の研修を予定 3.各圏域の活動について 4.全体会で周知・報告すること 特になし 5.その他 医療介護連携シートについて →医療系サービス利用時に医師に確認する書類について、検討していく

令和5年6月21日(水) 9:30～ 保健センター1階	1.枚方市役所から 熱中症のポスター依頼 2.各チームの今年度の取組 ●医療介護連携強化チーム ・インタビュー記事作成(大越なごみの森診療所 大越医師) ・病院向け連携シートについて、市で修正案作成してチーム内で検討した後、医師会に図る ・介護支援専門員向けシートも作成検討中 ●ケアマネジメント支援チーム 10月27日研修開催で準備中 ●認知症施策検討チーム ・認知症すごろくは7月末完成予定。校区福祉委員に配布、各地域包括支援センターにも配布予定 ・認知症初期集中支援チームとの意見交換会は6月13日開催、PR動画作成 ・認知症ステップアップ講座の方向性については報告書を作成 3.各圏域の活動について 4.全体会で周知・報告すること 特になし 5.その他 いすプロジェクトについての聞き取りを行うとともに、各地域包括支援センターの動きを確認
令和5年7月19日(水) 9:30～ 保健センター1階	1.枚方市役所から 特になし 2.各チームの今年度の取り組み ●医療介護連携強化チーム ・医療・介護連携の強化を目指すチラシについて、医師会の確認後全員に周知予定 ・病院向け医療連携シートについて、市と病院側と打合せを予定 →認知症の検査の内容なども追加するよう提案している ●ケアマネジメント支援チーム 研修準備中 ●認知症施策検討チーム ・医師会館移転に伴う圏域居宅周知活動について ・オレンジガーデニングプロジェクトは市所有の駅にある花壇なども対象であることを確認 3.各圏域の活動について 4.全体会で周知・報告すること報告すること ・星ヶ丘医療センターが各地域包括支援センター訪問予定 ・入退院ネットワーク会議にて、精神科病院との連携について協議
令和5年8月16日(水) 9:30～ 保健センター1階	1.枚方市役所から アルツハイマーデー特別公演に係る情報提供があった 2.各チームの今年度の取り組み ●医療介護連携強化チーム 医療・介護連携の強化を目指すチラシに掲載するインタビュー記事について、諏訪クリニック諏訪医師に打診している ●ケアマネジメント支援チーム 10月27日開催予定の「きっと誰かの役に立つ。知って得するネットワーク」研修について ●認知症施策検討チーム 認知症すごろく完成が完成したため、校区福祉委員向け使用方法に関する研修予定 3.各圏域の活動について 4.全体会で周知・報告すること報告すること 特になし 5.その他 ・星ヶ丘医療センターからの連携訪問について ・入退院支援ネットワークからの連携訪問 - 市内医療機関、精神医療センター、東香里病院、関西記念病院との連携について協議 - 医療機関の特徴、医療保護入院の詳細について確認を行った

令和5年9月20日(水) 9:30～ 保健センター1階	1.枚方市役所から 特になし 2.各チームの取り組み ●医療介護連携強化チーム 医療・介護連携の強化を目指すチラシについて、すわ診療所の諏訪医師にインタビューを実施 ●ケアマネジメント支援チーム 10月27日開催予定の「きつと誰かの役に立つ。知って得するネットワーク」研修について ●認知症施策検討チーム 認知症ステップアップ講座の内容確認を実施 3.各圏域の活動について 4.全体会で周知・報告すること報告すること 特になし 5.その他 第11圏域において、2回目となる「家族の会」生涯学習センターで実施予定
令和5年10月18日(水) 9:30～ 保健センター1階	1.枚方市役所から ACP支援のための研修を枚方市医師会館にて以下のとおり実施した ・日時:10/25 14時から ・対象:枚方市内の医療機関や介護事業所に従事している者 ・テーマ:ACP支援のための研修 ・講師:筑波大学付属病院 緩和支援診療科 教授木澤義之氏 2.各チームの取り組み ●医療介護連携強化チーム すわ診療所の諏訪医師のインタビュー内容について、2月号会報に入れてもらうように準備中 多職種連携研究会に係る企画報告入力 ●ケアマネジメント支援チーム 10月27日開催予定の「きつと誰かの役に立つ。知って得するネットワーク」研修について ●認知症施策検討チーム ・オレンジガーデニングプロジェクトについて、終了報告 ・チームオレンジサポーターの今後の受け入れ ・認知症キャラバンメイト利用し説明していく 3.各圏域の活動について 4.全体会で周知・報告すること報告すること 特になし 5.その他 交野市の取り組みの紹介 →8月26日に交野市多職種連携研究会が主催した市民フォーラムに参加 内容:在宅看取りについて、医師の親の看取りの体験談
令和5年11月15日(水) 9:30～ 保健センター1階	1.枚方市役所から 特になし 2.各チームの取り組み ●医療介護連携強化チーム 医療・介護連携の強化を目指すチラシについて ●ケアマネジメント支援チーム 10月27日研修終了 58名参加 アンケート回収率34.5% アンケート集計と振り返りをしていく 集計後部会に周知予定 ●認知症施策検討チーム ・10月3日の認知症マップ開催について →時間内にできなかったという意見あり ・11月30日の人生会議講演会について →開催周知を各圏域のケアマネジャーに依頼 →12月8日後追いイベントとしてルファルひらかた社協で開催を企画 ・1月30日のチームオレンジサポーターのの交流会について 3.各圏域の活動について 4.全体会で周知・報告すること報告すること なし 5.その他 第11及び第12圏域で法定外研修開催予定

令和5年12月20日(水) 9:30～ 保健センター1階	1.枚方市役所から ・ACPワーキングチーム 専門職向け、市民向けのツール作成中 ・医師会 医師向けに講演企画(2月か3月の土曜日開催予定) 講師:関西医科大学付属病院 神経内科薬師寺医師予定 2.各チームの取り組み ●医療介護連携強化チーム ・完成した医療・介護連携の強化を目指すチラシを市に提出する ・多職種連携研究会の課題抽出(1月から12月実施地域包括支援センター)→課題まとめ ・在宅医療・介護連携推進事業事務局会議に出席予定 ●ケアマネジメント支援チーム 法改正の内容について共有していく ●認知症施策検討チーム ・初期集中支援チーム 初動様式→地域包括支援センターから市への提出場所の作成 ・認知症ステップアップ講座(社協こもれびで開催) ・認知症施策検討チームで啓発動画作成中 3.各圏域の活動について 4.全体会で周知・報告すること報告すること 特になし 5.その他 入退院支援ネットワーク会議の報告
令和6年1月17日(水) 9:30～ 保健センター1階	1.枚方市役所から 3月22日の地域ケア推進実務者連絡協議会で多職種連携研究会の報告予定の連絡あり 2.各チームの取り組み ●医療介護連携強化チーム 在宅医療連携会議に出席 内容:多職種連携研究会について個別案内の提案、また、医師にとって 地域包括支援センターと連携したメリットについても知ってもらうというもの ●ケアマネジメント支援チーム R6年度法改正に伴う変更内容を整理したパワーポイントを作成 ●認知症施策検討チーム 1月30日のオレンジサポーター交流会について 3.各圏域の活動について 4.全体会で周知・確認すること 特になし 5.その他 3月2日に予定している医師会向けの講話について →市と部会で作成したパワーポイント、各圏域における地域包括支援センターと医師が 連携した際の成功例を準備
令和6年2月21日(水) 9:30～ 保健センター1階	1.枚方市役所から 特になし 2.各チームの取り組み ●医療介護連携強化チーム ・3月2日に予定している医師会向けの講話について ・多職種連携研究会の課題整理 ●ケアマネジメント支援チーム 事業計画の見直し ●認知症施策検討チーム 特になし 3.全体会で周知・確認すること 特になし 4.その他 3月8日に開催された入退院ネットワーク会議に社協ふれあい職員が参加 内容:介護保険主治医意見書用問診票について

令和6年3月21日(木)
9:30～
保健センター1階

- 1.枚方市役所から
特になし
- 2.各チームの取り組み
 - 医療介護連携強化チーム
課題集約
 - ケアマネジメント支援チーム
来年度の目標を変更
 - 認知症施策検討チーム
令和6年度のチーム員の人選について
- 3.全体会で周知・確認すること
特になし
- 4.その他
 - ・チーム分けについて決定
 - ・入退院ネットワーク会議の報告
 - ・チームに分け次回のチームリーダー決定する

2. 主任ケアマネ部会の活動

医療介護連携強化チーム

(1) 多職種連携研究会について

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、対面での開催が増え、認知症、ACP（人生会議）、看取り、災害時の対応など多岐のテーマに渡り開催し、医療・介護の連携を確認できた。

(2) 枚方市医師会とエーザイ株式会社共催【枚方市認知症診療を語る会】の講演に登壇

「認知症支援体制構築、地域包括支援センターの周知、顔の見える関係づくり」をテーマに、地域包括支援センターの取り組み、医療と介護を目的とした待合室懇談会、多職種連携研究会の紹介、医療機関と地域包括支援センターとの連携について事例を用いて紹介することで、より深い連携の構築に努めた。

(3) 医療と介護の円滑な連携を目的としたチラシの作成

地域包括支援センターと連携したケースや医師の体験や思いを掲載したチラシを作成し医師会の協力を得て配布した。

・令和5年9月配布

インタビュー：大越なごみ森診療所 大越医師

テーマ：人生最後の時を少しでも穏やかにその人らしく ～訪問診療について～

・令和6年2月配布

インタビュー：すわ診療所 諏訪医師

テーマ：病院から在宅へ ～在宅での療養・連携体制について～

ケアマネジメント支援チーム

(1) ケアマネジャー向けアンケートを昨年度実施。その結果関心の高かった【障害福祉】について研修を実施。

テーマ「きっと誰かの役に立つ。知って得するネットワーク

～ケアマネとしておさえておきたい障害福祉と介護の連携」～

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 障害福祉について～基本的な事～ | 講師：パーソナルサポートひらかた |
| 2. 障害認定の取り方・概要について | 講師：枚方市障害支援課 |
| 3. 就労支援A型・B型について | 講師：わらしべ会アトラクト |
| 4. 障害保険から介護保険への移行について | 講師：地域支援センターゆい |

(2) 法定外研修に関して、各圏域で開催できるよう体制を整えた。

その他

引き続き枚方市ソーシャルワーク研究会に主任ケアマネ部会として参加

1. 総合的な方針

ニーズ・課題(前年度)

1. 医療・介護(多職種)の連携を強化する。

①多職種連携研究会

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更されたことを受けて、対面での開催が増えた。その一方で、居宅介護支援事業所や介護保険サービス事業所の業務過多、人材不足などの理由で多職種連携研究会への参加が負担になっている等の声もあり、参加率が上がっていない。そのためオンラインを併用した新しい形での開催も模索している。医師会に周知を図るため、多職種連携研究会に参加した医師へのインタビュー記事を掲載したチラシを配布しているが、依然として医師の参加が少なく、協力を得るための新たな働きかけや工夫が必要である。多職種連携研究会の地域・連携課題としては ACP 啓発の必要性や介護保険サービス事業所の人材不足等が挙げた。

②医師会との連携

医療連携シートについては、医療・介護の双方に有益なシートとするために、検討を重ね、医師会の意見も聞いた結果、最終的には医師会主体での作成となった。医師会向けのチラシについては、今年度チラシに1機関の医院の記事を載せるなどよりインパクトのあるチラシ作成に取り組み、内容の充実に努めたが、明らかな効果は得られなかった。内容の見直しや周知を図るための工夫等改善が必要。在宅医療・介護連携推進事業の事務局会議や医師会主催の研修に参加し、地域包括支援センターの役割等改めて周知を行った。

③出前講座

新型コロナウイルスやインフルエンザ等、感染症における医療機関の混乱や感染予防を考慮し、今年度は開催に至らなかったが、地域包括支援センターや介護保険等に関する情報が、まだまだ医療機関の職員に周知されていない実態は続いている。

④待合室懇談会

対面やオンライン等、状況に合わせて開催している。在宅診療の需要も増えており、訪問診療を専門に行っている医師、MSW からの話しや在宅での緩和ケアの話し等、活発な意見交換を行うことができた。

2. ケアマネジメント支援

前半は令和 4 年に実施したアンケートをもとに、「障害福祉」についての研修を対面の講義形式で行った。後半は令和6年度介護保険法改正に伴う、変更箇所・重要箇所等を主任ケアマネ部会で共有かつ各圏域で研修が開けるようなツールの作成を開始した。法定外研修においては各圏域で開催できるよう体制を整える事ができた。

取組方針・目標
昨年度は、新型コロナウイルス感染症への対応が5類感染症に変更されたことから、医療連携を目指す多職種連携研究会や待合室懇談会など、また ケアマネジャー支援の研修も会場で開催することができた。今年度は医療保険・介護保険制度同時改定年であり、2025 年(団塊の世代が 75 歳以上になる)問題を見据える年でもある。その為、ケアマネジャー後方支援・資質向上に向けた取り組みの実施、また地域包括ケアシステム深化・推進に向けた、医療・介護・福祉等の連携を深めていく。 1. 医療・介護(多職種)の連携を強化する。 今年度も医療・介護連携の強化を目指すチラシを作成して、医師への配布を医師会に対して依頼することで、医療・介護連携に係る周知を図り、多職種連携研究会への参加や日々の連携に繋げていく。 2. ケアマネジメント支援 介護保険法改正の内容については各圏域で活用できるよう、共通ツールを完成させる。研修についてはアンケート内容を参考に協議しながら実施する。また、昨年度の研修から得た課題(他制度との円滑な連携)について継続して取り組む。

2. 取り組み内容別の方針

チ ャ ム 名	医療・介護連携強化チーム
チ ャ ム 構 成 員	美郷会、みどり、アイリス、大阪高齢者生協、大潤会
取 組 内 容	①引き続き医療・介護連携の強化を目指すチラシを作成するが、地域包括支援センターと連携することでのメリットを記載する等、掲載内容の見直しを行う。周知方法についても会報に入れるだけでなく、個別で開業医に配布する等検討していく。 ②多職種連携研究への参加について、医療機関だけでなく、介護保険サービス事業所の参加も減ってきているという課題に対して、各圏域の取り組み等を共有しながら今後の活動に繋げていく。

チ ャ ム 名	ケアマネジメント支援チーム
チ ャ ム 構 成 員	聖徳園、安心苑、サール・ナート、松徳会、パナソニックエイジフリー、東香会
取 組 内 容	①令和5年度研修後のアンケート結果から障害福祉など他制度との円滑な連携についての研修内容を検討して実施する。 ②介護保険法改正について資料(スライド)を完成させる。 ③他制度との円滑な連携について継続し取り組む。